

無意識に机を整えたくなる仕掛け

花満 美希 , 福嶋 虹海 , 木村 美月

Miki Hanamitsu , Nanami Fukushima , Mizuki Kimura

京都府立京都すばる高等学校

Kyoto Prefectural Kyoto Subaru High School

企画科 Uゼミ Bチーム

Planning Field

Abstract: Our goal when we clean. The purpose is to quickly and neatly line up the classroom desks when cleaning the school. We thought that the Shikake we had in mind would achieve the goal and would benefit both people that arrange the desks and people that oversee it. For that reason, I put something that imitated the target on the floor. The results are described in this paper.

1 はじめに

自校では、毎日一回掃除時間が設けられている。現在は、コロナ禍の影響で、机と机の間に一定の幅を取り、ソーシャルディスタンスが保たれた状態になるよう並べている。しかし、机を並べる時間が大幅にかかり、掃除時間が伸びてしまっている。さらに、先生も注意する回数が増え、運んでいる生徒自身も不満を覚えている。

私たちはこの問題に着目し、「机をついならべたくなる仕掛け」を設置すれば、素早く簡単に、かつきれいに机が並べられるのではないかという仮説を立てた。

2 提案方法

研究発表

3.1 方法

本研究では、私たちが普段活動しているHR教室の床の机を並べる前足2本の部分にカーリングの的を模した装置を設置し(図1、図2)、掃除時間短縮に効果を及ぼしているかを検証しました。検証は3チームで行いそれぞれ1か月、合計約3か月行いました。装置無しで机を並べるのにかかった時間、装置

ありで並べるのにかかった時間をそれぞれ計り、比較しました(表1)。

図1 :

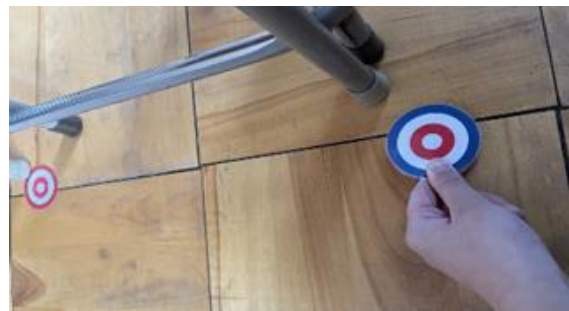


図2 :



表1：

日付	机の整理時間	掃除人数	乱れた机の数	注意された回数	班	仕掛けの有無
9月16日	2:41	5人	3個	1回	C	無
9月22日	3:44	5人	5個	1回	C	無
9月29日	1:52	5人	0個	0回	C	有
9月30日	2:05	5人	0個	0回	C	有
10月1日	4:28	4人	ぼとんど	1回	B	無
10月4日	5:15	4人	0個	10回	B	無
10月12日	4:30	4人	0個	5回	B	無
10月13日	4:48	5人	0個	8回	B	無
10月14日	3:54	4人	0個	0回	B	無
10月18日	4:07	4人	4個	1回	B	有
10月19日	4:13	4人	0個	2回	B	有
10月25日	3:39	4人	0個	1回	B	有
10月26日	3:35	4人	0個	0回	B	有
10月27日	3:37	4人	0個	0回	B	有
11月1日	3:03	4人	0個	0回	A	有
11月2日	3:20	3人	0個	0回	A	有
11月4日	2:45	3人	0個	0回	A	有
11月5日	2:48	4人	0個	0回	A	有
11月6日	2:37	4人	0個	0回	A	有
11月7日	3:05	4人	0個	0回	A	有
11月8日	2:50	4人	0個	0回	A	有
11月12日	3:31	5人	0個	0回	A	無
11月16日	3:49	4人	0個	0回	A	無
11月18日	4:04	4人	2個	1回	A	無
11月17日	3:24	4人	0個	0回	A	無

3.2 検 証

各チームその日によって掃除の細かな状況が変わることがありましたが、3チームの結果を平均して約55秒も短縮されていることが分かりました。的があることにより「注意する必要がなくなった。」という先生の声や、「わかりやすくていい」という生徒の声が聞くことができました。私達から見てもスムーズに机が並べられていたように思います。成果は数字としてだけではなく、周囲の雰囲気にも表れました。

4 むすび

今回の検証によって、カーリングの的を模した目印に机の脚を合わせたいという心理的状况を働かせることができ、効果を発揮できました。しかし、粘着剤の付着による教室の汚れ、装置の脆さなどの改善点もありました。次年度後輩には今後はその課題を解決して、仕掛け装置を全クラスの教室に設置できるように取り組んでもらいたいです。

謝辞

今回の検証は、大阪大学経済学部経済研究科松村真宏教授よりzoomでの仕掛学入門の講義や、株式会社パラカ研究所代表取締役山根承子様には行動経済学についての講義をしていただきました。近畿大学経営学部経営学科山縣正幸教授には仮設の立て方や探求の仕方などについて講義をしていただき、仮説を立てるまでに至ることができました。また、株式会社伊藤園広告宣伝部の金井菜々美様にも、仕掛の検証や論文作成にあたってのポイント等を教えていただきました。仕掛学が初めての私たちにとって、松村先生、山縣先生、金井様のお力添えがなければ無事に成功させることができなかつたと思います。ここに記して感謝申し上げます。

参考文献

- [1] 仕掛学 松村真宏 東洋経済出版 (2016)
- [2] 仕掛学研究会発表論文 大前 海翔, 河上 絢翔, 松本 裕真, 高橋 陸 (大阪府立天王寺高校)
- 仕掛けゴミ箱によるポイ捨て抑止効果検証と実用化検討 (第10回仕掛学研究会 (2021))
- [3] 「ペットボトルつぶせるリサイクルBOX」～捨てる行動を誘引し、資源を回収する仕掛け～ 金井菜々美 株式会社 伊藤園 広告宣伝部 <https://www.shikakeology.org/>

※連絡先：京都府立京都すばる高等学校
 企画科3年 課題研究 (Uゼミ)
 〒612-8156
 京都府京都市伏見区向島西定請120
 E-mail: r-umeki-20@kyoto-be.ne.jp